

つらつら椿外苑 2023年～24年期開花記録

昨年整備を始めた、つらつら椿外苑の椿も今季の開花を終えました。

120本の植樹の内53本に花が咲きましたが、過酷な移植と猛暑で蕾をつけたものの開花できなかったものもたくさんあったようです。(残念)現在新芽を次々と伸ばしている状況ですので、来季は今季以上に多種多量の花を付けるものと期待しております。(乞うご期待)

開花した椿53本に7本の参考品種(実生種の親樹など)を加えた、61品種の椿をご案内いたします。
(順不同)注1.『小野乃春野』は色の異なる2種類の花を添付しています。

※参考品種7種

- ①ルチェンシス…ヒメサザンカ(姫山茶花)とも呼ばれる原種で、沖縄県西表島～奄美大島に自生する日本固有種。多くの香りツバキの交配親です。交配種の名前に『姫』の字がつくことが多くあります。衣通姫、月待姫などなど
 - ②ワーリンガーベル…ホワイトベルの実生親樹(この椿の種を蒔いて育成)
 - ③秀蘭…まんだら椿などの実生親樹(この椿の種を蒔いて育成)
 - ④十里香…樹里香の元樹(この椿の枝変わりといわれています)
 - ⑤式部…桃色ト伴の姉妹種(日光(じっこう)の実生種といわれています)
 - ⑥月光(がっこう)…式部及び桃色ト伴の実生親といわれています。別名:ト伴(ぼくはん)
 - ⑦光源氏…NHK大河ドラマ「光る君」に因んで特別出演
- 注2.写真には、品種名・来歴等・撮影日を付記しています。(朝日二丁目HPでご確認下さい)
注3.『永楽』『御所白侘助』は移植前の写真を使用しました。



①ルチェンシス



②ワーリンガーベル



③秀蘭(しゅうらん)



④十里香(じゅうりこう)



⑤式部(しきぶ)



⑥月光(がっこう)



⑦光源氏(ひかるげんじ)

椿の実生種の不思議!?

つたもみじ一徹は蔦紅葉の種子から2010年に育成し、14年目で初めて開花しました(両種の写真は後載)
右は2016年に同親からの実生種ですが…
つたもみじ一徹とは全く異なる花を付けています



2016年蔦紅葉実生種



エクストラギガンザ
※アメリカ産 白地地 極大輪 唐子咲き
2024年4月19日撮影

エクストラギガンザ
USA産 唐子咲き 大輪
2021年 W18.5cmH8.5cm



キューピードール
※アメリカ産 淡桃色 唐子咲き 大輪 旗弁が盛り上がる
2024年4月19日撮影

キューピードール
極淡桃色 唐子咲き
旗弁が盛り上がる USA産



サクラ
※アメリカ産 ミニ椿 半八重咲き 極小輪
2024年4月19日撮影

サクラ
ミニ椿 半八重咲き 極小輪
ルチェンシス交配種 USA産



タマビューティ
※アメリカ産 白の浦の実生
2024年4月19日撮影

タマビューティ
桃紅地 白覆輪 牡丹咲き
玉の浦の実生 USA産



ジュンマックスキル
※アメリカ産 桃色 八重咲き 大輪
2024年4月19日撮影 (散った状態です)

ジュンマックスキル
桃色 八重咲き USA産
※写真は散った状態



ジュリアフランス
※アメリカ産 桃色 八重咲き 大輪
2024年4月19日撮影

ジュリアフランス
桃色 八重咲き 大輪
USA産



ブラックレース
※アメリカ産 ドネーションとトウツバキ クリムゾンロブとの交配種
2024年4月19日撮影

ブラックレース
千重咲き USA産
ドネーションとトウツバキとの交配



チューリップタイム
※アメリカ産 ウィリアム・ハービー・アップルとピコとの交配種
2024年4月11日撮影

チューリップタイム
花弁は細長く楕状
サーモンピンク USA産



バターミント
※アメリカ産 (原種が園芸) の中
2024年4月19日撮影

バターミント
クリーム黄色 千重咲き
USA産



マーガレットデイビス
※オーストラリア産 アズラ・マックス・サーとの交配種
2024年4月19日撮影

マーガレットデイビス
白地に紅覆輪が入る牡丹咲き
オーストラリア産



フレグラントピンク
※アメリカ産 八重 花弁が細く 旗弁が盛り上がる
2024年4月19日撮影

フレグラントピンク
香り椿 淡桃色 八重/牡丹咲き
ルチェンシス交配種



ホワイトベル
※自家栽培ワリンガーベルの実生種
2024年4月19日撮影 (2024)

ホワイトベル
自家栽培ワリンガーベル実生

↓ソメイヨシノ公園に植栽

ルチェンシス交配種↓



まんだら椿

2010年『秀蘭』の種子から生まれた実生椿。花がいろいろに咲き分ける金魚葉(葉の先端部が金魚の尾状)



衣通姫(そとおりひめ)

香り椿 淡桃色 輪芯 一重 椀咲き 有香 沈丁花のように香る



隠れ磯(かくれいそ)

独特な暗紅紫色(アズキ色)地に白覆輪 日本の誉の枝変わり



永楽(えいらく)

暗紅色 雄しべの花糸は紅色 中部では「黒侘助」と呼ばれる



越椿(えつつばき)

ベトナム原産椿の交配種!?



月待姫(つきまちひめ)

白色に桃ボカシ ラップ~平開咲き ユキ芯 ルチェンシス交配種



香妃(こうき)

淡桃色 八重 有香 菱唐糸とルチェンシスの交配種



樹里香(じゅりこう)

中国原産原種系・十里香椿の斑入り葉(枝変わり)



台湾大東茶(だいてうちゃ)

台湾原産の台湾ツバキ 別名:ゴードニア Polyspora axillaris



中国リング椿

中国原産 紅色一重咲き 大きな実が付く



姫侘助(ひめわびすけ)

淡桃地に紅色の縦絞りや小絞りが入る 一重 筒~ラップ咲き



風鈴一号(ふうりんいちごう)

桃色 一重 極小輪 芳香 多花性 ルチェンシス交配種



ウラク64

1964年に東京の長浜昇の作出・発表
表太郎冠者(有楽)の自然実生。



つたもみじー徹

2010年 蕙紅葉の実生
今季初開花



蕙紅葉(つたもみじ)

左記の親樹「立寒椿」と「ユース
ネンシス」の種間雑種



列々椿・都良都良椿

つらつらつばき(赤と白)
親不明の自然実生種



桃色ト伴(ももいろぼくはん)

桃色ト伴・式部はト伴の実生と
言われている ときに黄斑が入る



桃太郎(ももたろう)

底白ぼかし 蓮華性の八重咲き
春曙紅(しゅんしょこう)の自然実生



匂い紅(においべに)

「匂吹雪」の枝変わり
有香 肥後系のツバキ園芸品種



白金魚葉椿(しろきんぎよば)

1957年発表
別名:白一重金魚葉椿



麻己等(まこと)

2016年 妙蓮寺(みょうれんじ)実生(京
都二条城)・本当の意 **初開花**



一子侘助(いちこわびすけ)

濃紅色 一重 猪口咲き
侘芯ツバキの第1号



関西無類紋(おるいしばり)

白～極淡桃地に紅色と淡紅色の縦～
小絞りが入る 乱れた八重～牡丹咲



胡蝶侘助(こちょうわびすけ)

ワビスケツバキの古典品種 子房に
は微毛がありほとんど結実しない

き



五万石(ごまんごく)

雄しべは退化、萎縮し、わずかにその痕跡をとどめる程度になった、蕊なし状ワビスケツバキ



御所紅荒獅子(ごしょうあらじし)

1859年「椿伊呂波名寄色附」に記載 2007年挿し木(京都御所剪定職人より譲受枝)



御所笹葉百合椿(ごしょささばゆり)

「草木錦葉集」に「金王百合葉」で記載 2007年挿し木(京都御所剪定職人より譲受枝)



御所白侘助(ごしょしろわびすけ)

京都御所植栽椿を挿し木



光沢木(つやき) 初開花

2016年 秀蘭(しゅうらん)実生? (中国リンゴ椿?)・ツバキの旧表記
↓ソメイヨシノ公園に植栽



紅乙女(こうおとめ)

紅乙女の採取種の実生 (年不詳)



紅丸(べにまる)

新潟県刈羽郡の民家の栽培種 牡丹～八重咲きで盛り上がる



紅朝日(べにあさひ)

2007年『熊谷』(別名:光明)と思われる種子から生まれた実生椿



三河雲龍(みかわうんりゅう)

1960年発見 曲芸椿 枝はよく屈曲 三河山間部の野生藪椿



鹿待君(しまつきみ)

年不詳自家自然実生・夫が鹿を捕らえて帰るのを待つ妻の意



若楓(わかかえで)

久留米の野生ヤブツバキの選抜 1985年命名発表 同類のヤブツバキより特に優れたもの



初黄(しょう)

1989年命名発表 国内初の黄色交配種

千の中でも、特に優れたものの一つ



初雁(はつかり)

太郎冠者によく似ておりその実生関係を
思わせる別名 昭和佐助・雪中花



小野乃春野(おののはるの)

年不詳自家自然実生(曙?) 淡桃色～桃色 紅斑入り 桜葉
上写真のように色々に咲き分ける



数寄屋佐助(すきや)

上品な色調と引き締まった花と葉の組み
合わせが、茶人に特に好まれている



勢故椿(せこつばき)

2013年自然実生(親不明)
・あの人 愛しい人の意



相合傘(あいあいがさ)

雪椿系 紅色 唐子弁に白色筋入
り 二段咲き 名は花形に由来

特別付録Ⅰ メジロと椿



メジロといろり火



メジロと叡山無動寺



メジロと加茂本阿弥

特別付録Ⅱ 希少椿

ベトナム原産 ↓

↓ 極珍品 奇品椿 ↓

梵天葉 ↓



ハイドゥーン椿

ベトナムではテト(旧正月)を祝う花
和名は海棠椿(カイドウツバキ)



まどか

大変珍しい丸葉は受け皿のようにな
ったり筒状になったりと多様に変化



梵天赤椿(ぼんてんあか)

金魚葉の先端の金魚の尻尾にあたる
帯化部が、葉身より分離してロート状に